

## 式 辞

木々の芽が日を追うごとに、柔らかな緑に包まれ、色鮮やかな花々が咲き誇るこの佳き日に、御来賓として後援会会長〇〇〇〇様の御出席を賜り、令和4年度埼玉県立熊谷西高等学校 第48回入学式を挙行できますことは、本校にとりましてこの上ない喜びであります。

ただ今、入学を許可されました322名の皆さん、そして、保護者の皆様、ご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

今回の入学式は、新型コロナウイルス感染予防のため、時間を短縮し、簡素な内容になっています。限られた時間と条件の中で、入学式が実施できるように準備を進め、今日を迎えることができました。感染予防対策を行ったうえでの入学式になりますが、何年か後に振り返った時に、思い出に残る入学式であれば幸いです。

さて、入学生の皆さんは、高校入試を見事に突破し、本日を迎えました。今日の新鮮な気持ちと感動を忘れることなく、西高生となったことに自信と誇りを持ってください。そして、これからの目標を持って、一步一步、着実に歩いていきましょう。

皆さんに1つ質問をします。西高生全員に共通して、最も重要なことは何ですか。もう一度言います。西高生全員に共通して、最も重要なことは何ですか。いろいろな答えが浮かんだかもしれませんが、一つに絞るなら「生徒一人一人の進路実現、進路希望の実現」です。100%に近い生徒が進学を目指し、国公立大学を第一志望とする生徒も数多くいます。この3月の時点で、西高卒業生の国公立大学の合格者は、66名、そのうち現役が57名です。東京工業大学や東京外国語大学、防衛大学校といった難関大学も含まれています。先輩たちがこのような成果を達成したのは、1年時から日々の授業を大切にして主体的に学習し、「チーム西高」として仲間と支え合い、切磋琢磨した結果です。高校入試が終わったばかりですが、入学生の皆さんも次のゴール、大学受験へと目標を切り替えていってください。

さらに、本校では大学進学を目指すだけでなく、進学後もさらに学問を究め、高い専門性や国際性を身につけ、社会に貢献できる人物になるための基礎・基盤を築きます。授業はもちろん、部活動や学校行事等を通じて主体的に学び、仲間と協力して問題解決を図る機会も多数あります。特に、文部科学省から指定されているスーパーサイエンスハイスクールとして、全生徒が探究活動を通じて、科学的なものの見方や考え方、課題設定能力やプレゼンテーション能力など、実践的で総合的な学力を育成していきます。

次に、新型コロナウイルス感染症に関して、まん延防止等重点措置が3月21日をもって解除されました。感染防止に努めながら経済を動かし、経済の回復を目指していくという方向にシフトしていますが、感染状況によって今後どうなるかは未知数です。引き続き、感染防止を徹底した行動が求められます。

新入生の皆さんもこれまで大きな影響を受けてきたと推察します。中学3年間の集大成となるはずだった学校行事や部活動の大会が制約を受けるなど、大変な思いをしてきたかもしれません。これから始まる高校生活においても、平常とは呼べない状況が続くことが予想されます。

しかし、このようなときこそ成長・飛躍するチャンスでもあります。各自の置かれた立場・環境で工夫し、知恵を出し合い、協力して乗り越えていく。できないことを嘆くより、できることを最大限に活用する。昨年度、皆さんの先輩が実践してきたことです。プラス思考で自らの可能性を拡げ、大きな成果を数多く残すことができました。何事にも全力で取り組む本校の校風を受け継いで、新入生の皆さんも大いに活躍されると確信しています。

さて、保護者の皆様に、お願いがございます。

本日より三年間、全教職員が一丸となって、誠心・誠意お子様の教育に当たらせていただきますが、教育は学校だけでは完結しません。御家庭との連携・協力が不可欠です。学校の様子など、折に触れお子様からお聞きになっていただければ幸いです。学校からのお知らせや情報提供等を、お子様を介してお伝えすることもございます。気になることやお尋ねになりたいことなどあれば、遠慮なくお知らせください。

また、高校生には自主・自律が必要です。学校では自ら考え適切な行動ができるように指導・支援してまいります。御家庭でも自分でできることは自分で行う習慣を身につけさせ、手をかけすぎないようにサポートして頂ければ幸いです。

特に進路につきましては、お子様自身が主体的に判断し、決定することが大切です。必要に応じてアドバイスをを行いながら、本人が目指す進路実現に向けて応援してまいりますよう、お願いいたします。

結びに、入学生の皆さんが健康で楽しく、充実した高校生活を送り、大きく成長することを祈念するとともに、ご家族の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念し、今後も御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。 約 2,040 字

令和4年4月8日

埼玉県立熊谷西高等学校長 金室 紀夫